



寄付金を渡す本坊取締役会長。いただいた寄付金は、小林的美しい水、素晴らしい自然の保全や観光振興事業に活用します

### (株)C A B が100万円を寄付 水資源の保全などに活用

6月21日、ミネラルウォーターの販売を行う(株)クリーン・アクア・ビバレッジが市に100万円を寄付しました。贈呈式で本坊修代表取締役会長は「今回で5回目の寄付になります。企業活動の利益の一部を寄付しますので、有効に活用ください。今後も地元企業として頑張る所存です」と話していました。

### 全国消防救助技術大会に出場

6月6日、西諸広域消防本部の後田さんと桑島伸明さんが、全国消防救助技術大会(ロープ応用登はんの部)に出場することを市長に報告しました。後田さんは「大会まで時間があるので、鍛錬を積みたい」と話していました。



### 父の日に牛乳を贈ろう

6月7日、酪農青年女性連絡協議会が市長を訪問し、乳製品消費拡大をPRしました。大山雅行会長らは、ホルスタイン柄の法被を着て新鮮な牛乳を贈呈。大山会長は「酪農をさまざまな形でアピールしていきたい」と話していました。



### みんなで楽しく介護予防 ゴールデンエイジ大会を開催

6月8日、ゴールデンエイジ大会を市民体育館で開催しました。簡単な体操などで介護状態になりにくい体づくりを行うことを目的に、講師にスマイルファイン企画の萩元博子さんを迎えて実施。約160人の参加者は、日常生活で簡単にできる筋力トレーニングの貯筋運動などで体を動かしていました。



準備運動では、小林秀峰高校新体操部が「西諸弁ラジオ体操」のBGMで参加者と一緒に体操を実施。参加者は笑顔で運動を行っていました

### 地婦連が市長へ父の日の花束を贈呈

6月5日、小林市地域婦人連絡協議会が、市長へ花束を贈呈しました。同会は、平成14年から日ごろの感謝の気持ちを込めて父の日に市長へ花束を贈呈。贈呈式で同会の上原裕子会長は「これからも元気で仕事を続けてください」と話していました。



### ドリーム・ジャンボ学園が開校

6月6日、ドリーム・ジャンボ学園が開校されました。須木中の生徒を対象に、市立病院の臨床工学技士や理学療法士、宮大医学生などが講演。同校3年の片地奏音さんは「医療の現場でも、多くの職種があることがわかり勉強になった」と話していました。



設立会では、商工会議所をはじめ農業・観光・金融・学校など市内の各種団体が出席。今後の活動内容を協議しました

### 産学金官の連携で小林的未来を担う人材を育成

6月7日、こばやし近未来ひとづくり協議会の設立会が開催されました。同会は、産学金官の連携で子どもたちへのキャリア教育を推進し、小林的未来を担う人材を育成することや市内産業の活性化が目的で設立。設立会で小林商工会議所の熊ノ迫文夫会頭は「今後は、子どもたちにとって良い仕組みを作っていきたい」と話していました。

### 県高校総体ボート競技が小野湖で開催

5月26日から27日にかけて、県高校総体のボート競技が須木地区の小野湖で開催されました。小野湖活用を進めるウォーターフロント事業の一環で開催。県内5校から6種目39人の選手らが出場し、日ごろの練習の成果を発揮し、競い合いました。



### 細野中が交通安全モデル校に指定

6月3日、自転車交通安全モデル校指定証が細野中学校に交付されました。5月には自転車盗難防止モデル校にも指定された同校。指定交付式で同校3年の松田樹利さんは「他校の見本になるような活動を心掛けたい」とあいさつしました。



### 甘い匂いに誘われて長蛇の列 メロン・マンゴーフエア開催

5月25日、第8回メロン・マンゴーフエアがのじりこぴあで開催されました。市場価格よりも安価で、みやざきブランド「めろめろメロン」と「太陽のタマゴ」を含む完熟マンゴーを販売。JAこばやし管内で生産されたメロン約1万2000個、マンゴー約3000個が売り切れる盛況となりました。



同フェアは、野尻地区のメロンなどのPRを目的に平成4年から開催。約3500人の来場者は、列を作ってメロンやマンゴーを買い求めていました

### 出の山ホテル恋まつり開催

5月24日から26日、5月31日から6月2日にかけて、出の山ホテル恋まつりが開催されました。市内外から延べ5960人が来場。期間中は、保護のため立入禁止にしている遊歩道を開放し、訪れた人は幻想的に乱舞するホテルを間近で観賞しました。



### 思いやりの心、花とともに育て

5月29日、花を育てることを通じて、思いやりの心を育て「人権の花」運動の苗が、西小林小学校の児童に贈られました。贈呈式では、同校6年生の安藤未来さんが「みんなで協力して小学校を花いっぱいになりたい」とお礼を述べました。

